

陽来復御守

金銀融通の御守とも申し、古来の吉例により

冬至から節分迄の間毎日、穴八幡宮社殿に於て

お頒け致します。

○御祭りする日時

冬至、大晦日、節分、この三日の内
の都合のよろしい日の夜中の十二時

○御祭りする場所、方角

下の図にある様來年の明きの方(恵方) 亥子(真北から少し西寄りの方角) の方に向け反対側の(南側) 柱か壁の成るべく高い所に御祭り下さい。(御守の裏にのりをつけてはがれない様しっかりと貼して下さい)

○一旦御祭りになった御守は一年間動かさないで下さい。(もし移転等やむを得ない場合はとりはずして神棚に納められるか、または神社の方へ御納め下さい)

○お祭りする日は、冬至、大晦日、節分、の三日だけですが、お守は、冬至から節分迄は毎日差出しておりますから、都合のよい日にお受け下さい。

○この御守は江戸時代の元禄年間から行はれた穴八幡宮だけに傳來する長い傳統のある特別の御守であります。近年附近の社寺等で類似のお守を出して居る様ですが、当社とは全く関係ありません。御参詣の方は間違のない様穴八幡宮の御社殿でお受け下さい。(頒布時間、冬至〜大晦日は朝八時〜夜七時、正月〜節分は朝九時〜夕五時)

南側の柱か壁に貼る

東京都新宿区西早稲田二丁目一番十一号(牛込 高田)

(牛込局区内 郵便番号一六二〇〇五一)

穴八幡宮社務所

電話 東京(〇三)三三二〇三二七二二番

